Anchor's PERSON

株式会社 省力技研
代表取締役

河田 宗樹

「トラブルシューター河田」――そう呼ばれる河田社長。
建築設備の不具合を解決する技術について、多くの人が一目置く業界の第一人者だ。
適正価格で行われない一般的な施工フローに一石を投じ、
直接施工によって適正価格での提供を実現し、業界に新風を吹き込む。
自分が関わる以上は確かな技術を投じ、経費削減、利益向上につなげる。
「自分の技術と経験を駆使して不具合の解決に貢献したい」――それが社長の原動力だ。

「自分の技術や経験を駆使することでお役に立てるなら、それが一番のやり甲斐」

© 2020 HOUDOU-TSUSHINSHA Co.,Ltd.

建築設備の不具合を解決――
確かな技術と低コストで信頼を獲得

室内温度や臭い、騒音や振動など、空調・換気・電気・衛生設備の不具合が原因となる問題を改善・解決する『省力技研』。同分野で多くの実績を持つ河田社長は、正確な仕事を納めるのはもちろん、中間マージンが発生する現在の施工フローに一石を投じ、直接施工により適正価格で依頼に応える。本日は、タレントの松尾伴内氏が同社を訪問し、社長に自社の特徴や経営方針、今後の展望などを伺った。

company data

株式会社 省力技研

【本社】東京都大田区東雪谷 4 丁目 7 番 1 号 104 号
【大阪営業所】大阪市此花区西島 2 丁目 4 番 39 号
URL：https://shouryoku-g.com/index.html

代表取締役
河田 宗樹

――早速ですが、『省力技研』さんでは主にどういった事業を？

一言で言いますと、「設備の不具合の解決」です。オフィスビルや飲食店、厨房、アパレルショップ、集合住宅など人が出入りする場所では、人が快適に過ごせるように空調・換気・電気・衛生設備といった建築設備が設置されています。たとえば「冬は寒くて、夏は暑いのを何とかできないか」「すきま風をなくしたい」「排水管の臭いが気になる」など、設備の不具合によるお悩みや問題に直面している建築物は多いんです。それらを建築工事管理コンサルタントとして解決するのが、当社の仕事なんです。

――設備の不具合の解決というのは、専門業者が存在するのでしょうか。

たとえば、テナントビルの場合。ビルを建設したゼネコンや建築士、ビルを管理している管理会社にご相談される方が多いと思います。また内装に関わることなので、空間の企画・デザイン・施工を手掛ける大手などに依頼されます。しかし、実際に施工するのはゼネコンや建築・設計会社、デザイン会社ではありません。設備の不具合についてはそこからさらに専門業者に下請けに出されるのが一般的な流れなんです。

――そうして何重も介入すると、コストもかかりそうですね。

その通りで、実際に施工する専門会社に辿り着くまでに中間マージンが発生し、最終的な金額は適正とは言い難いものなんですよ。ところが、出された見積もりが適正な金額かどうか、疑問すら持たない方が多いのが実情なんです。

――何だか、損をした気分ですね。実際に施工する会社に直接お願いできればいいのですが。

そこで、当社『省力技研』では、そうした中間マージンを取り除き、ベストで適正な価格を出すことで、大幅なコストダウンを実現しています。低コストでありながら、大手サブコンで長年実績を積んできたベテランが工事会社『K プランニング』に所属しており、直接施工します。

――それは、業界の常識を覆すと言いますか、一石を投じる取り組みですね。河田社長は、どういった経緯でこの業界に？

ええ。大学卒業後は、兄が働いていたプラント関係の会社に入社しました。その後、第二次オイルショックの影響下、父、兄弟ともプラント業界であり困惑していた折に、建築設備業界の方が図面を描ける人間を探しているという話を耳にし、それがきっかけで結果的にそちらで働くことにしたんです。そちらで最初に携わった仕事が、なんばグランド花月の図面でした。なんばグランド花月の設備を手掛けた会社が日本トップクラスの会社で、私が次に携わることになった現場が、その会社の役職を務める方が担当していたんです。その方との出会いがターニングポイントになりました。当時、私は 30 歳を過ぎており、設備を一から勉強するには遅い年齢。そこで、「人の倍、仕事も努力もしなければ、皆さんと同じラインに並べないし、追い越せない。全部、私にやらせてください」とお願いしたんです。すると、私の気持ちを理解して下さり、全てをお任せ下さいました。そうして私は実践を通して独学で知識やノウハウを習得していきました。その方には感謝しかありません。超高層の OBP クリスタルタワー、国立民族学博物館などを担当した際、御指導下さった方々にも感謝している次第です。

――ノウハウを貪欲に習得しようと機会を求める社長のハングリー精神も素晴らしいですよ。

「品質と利益と評価を追い求め、クレームはゼロ、そして部下を育てる」――これを信条に、毎回、どの現場でも満点を取るつもりで仕事に励みました。その中で、私は運も良かったと言いますか、なんばグランド花月を手掛けた大手ゼネコンの役職にある方が、次の仕事に私を指名して下さり、それが終わった後は今度は別のスーパーゼネコンの大手工務店からお声を掛けていただき、所長として現場を管理する仕事を任されました。なかなかない話で、私は本当に運が良いようです。

――運とは、自分が引き寄せるものだと私は思います。社長の努力や仕事ぶりが、良い運を引き寄せたのでしょう。それにしても、そうしたお仕事を任された要因は何だとお考えですか。

建築設備の機器選定は既製品の中より選別して活用するのが一般的です。その点、私はプラント業界出身なので、現場に応じて一から作るという考えで、そこを評価していただけたのだと思います。それから、任せていただけたからには徹底的にやる姿勢でしょうか。国立民族学博物館を担当した際には、利益を期待しない方針のため赤字続きだった中、黒字に転換させました。自分が携わる以上、私自身が納得できる仕事、決して後悔のない仕事を納めたいんです。

――社長が信頼を獲得されていることにも頷けます。『省力技研』としての今後の展望をお聞かせください。

約 3 年前、名古屋にある物件の設備の不具合に関する依頼を受け、全てを解決しました。そこから、社員教育の打診をいただき、3 年計画を立て、現場に応じて必要な知識や技術をマンツーマンで指導しております。人を育てることは業界の今後に必要ですから、他からもお声掛けいただけましたら、私の知識や技術を以て社員教育に力を注がせていただきます。そして、当社最大の強みである設備の不具合の解決。これまでにお世話になった方のために、私の経験や技術を駆使して不具合を解決したい。その思いが当社設立の原点にあります。建築完了後の不具合は、時には訴訟問題にも発展するのですが、技術アドバイザーとして裁判に必要な資料を作成させていただいています。どんな形でもお役に立てることを嬉しく思います。皆さんの中には、「暑い、寒い、うるさい、汚い、臭い、振動がある」といった環境を受け入れていらっしゃる方もいるかと思います。しかし、これらは全て設備の不具合であり、解決できる問題です。

――それは、心強いお言葉です。

元施工の会社、特にゼネコンの場合は設備工事は全て下請け専門業者に全面委託しているのが実情です。不具合が発生した場合、ゼネコンは下請けに問題点を追及しますが、その会社が正確に解析できるレベルの会社なのかどうなのか、またゼネコンの会社レベルにも左右されるんです。問題点が内部で見つかった場合でも、施主様に対しては大きな問題として報告することはなく、内々で処理し明らかにしないのが一般的です。その場合、真の解決をしないまま対症療法として表面上の対応でその場を収めてしまいます。そこで、私ども『省力技研』が真の問題点を洗い出し、解析して解決の方策を提示致します。また、改修工事などの見積もり査定も行いますし、技術面でも絶対的な自信があります。全国からご依頼いただけますので、ぜひ一度ご相談いただきたく思います。私は、「トラブルシューター河田」と言われていたほど、ありとあらゆる不具合を解決してきました。大型ビルだけでなく、ホテルやレストラン、大学、病院、博物館、工場、福祉施設など多種多様な設備の不具合を解決してきた実績があります。その技術で以て、ぜひ皆さんのお力になりたいです。

（2020 年 8 月取材）

「携わる以上は徹底的にやる」

▼河田社長は、大型ビルの熱源改善や空調システム及び某ホテルの厨房換気設備の改善、某病院の換気不具合の解析・改善、某ビルの施工不具合の原因の解析・改善など多数の実績を持つ。また某ビルにおいては、スーパーゼネコンが半年の休館を含めた施工計画を立てていたのを、工期を縮めて休館を不要とし、コストも 4 割削減して設備の問題を解決した。その実績から多くの信頼を獲得していることは言うまでもなく、生半可な努力ではそれだけの技術と知識は習得できない。そんな社長に影響を与えたのが父親だ。廃品テレビ等のレンズや色んな部品を再利用して拡大・縮小コピーを実現するなど、発明家肌だったという。その信条は、「人生は勉強」。実践を通して学ぼうと様々な物を自作。病を患って ICU に入っていた時も、病床でも研究を完成させるためにものづくりに情熱を傾けた。「自分がやる以上は徹底的にやる」という社長。間違いなく、父親の遺伝子を受け継いでいる。

タレント
松尾 伴内

after the interview

この方に頼めば、きっと解決してもらえる――そんな絶大な信頼と安心感を、河田社長に感じました。設備の不具合って、素人だと「こういうものかな」と受け入れてしまうことがあります。でも、社長に言わせると、「それらは解決できること」。ぜひ、設備の不具合でお悩みの方は、『省力技研』さんにご相談いただきたいです。

© 2020 HOUDOU-TSUSHINSHA Co.,Ltd.